

予 算 要 求 資 料

令和5年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名【新】水産研究所下呂支所再編整備事業費（R6分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農政課 農業研究推進係 電話番号：058-272-1111(内4027)

E-mail：c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 71,894 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	71,894	0	0	0	0	0	0	0	71,894
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

漁協組合員や遊漁者の高齢化、アユの漁獲量の減少など、現在、岐阜県水産業は危機的な状況にある。この状況を打破するため、今後の政策を取りまとめた「岐阜県水産業振興計画」を令和5年3月に策定した。

計画に位置付けられた施策を実現するために、水産研究所の研究内容及び本所・支所の担当業務を見直すこととなったが、水産研究所の下呂支所の施設のほとんどは築60年以上であり、求められる研究を行うことはできない。

このため、下呂支所において新たに必要となったアユとイワナの研究が実施できるよう、既存施設を改修する。

(2) 事業内容

下呂支所の施設の更新

○第3温室をアユ加温循環飼育施設に改修

○第1温室をイワナ研究飼育施設に改修

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県1/2 (デジタル田園都市国家構想交付金活用)

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	69,914	アユ・イワナ研究飼育施設一式
消耗品費	866	水位・水温遠隔監視装置
備品購入費	1,114	イワナ飼育用水槽
合計	71,894	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県水産業振興計画 (対策機関：令和5年度～令和9年度)

2 施策 (戦略)

(6) 養殖業への支援

5) 岐阜県水産研究所での研究と普及の両立

(2) 後年度の財政負担

維持管理に必要な経費は、後年度も財政負担する必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

県の研究所であることから、県が事業主体となるのが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

水産研究所下呂支所において、中山間地域の需要に対応したアユ及びイワナの育種研究を行えるようにする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①中山間地域向けアユ種苗系統数	0	0	0	0	2	
②県保有イワナ系統数	1	0	0	0	3	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)
2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

水産研究所下呂支所は老朽化が著しく、研究を継続するには他施設の更新も必要である。

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

整備した施設を活用し、水産研究所下呂支所を中山間地域向けの水産種苗の開発拠点として、新たな種苗を開発する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

組み合わせる理由
や期待する効果 など